

令和7年度

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

事業計画及び収支予算

公益財団法人 高知市文化振興事業団

目 次

■事業計画

はじめに	1
I 基本方針	1
II 事業計画	
1 自主文化事業計画	2
(1) 目標1 ー結ぶー 芸術・文化活動を通した多様な主体との協働・連携の推進	
(2) 目標2 ー繋ぐー 高知に紡がれてきた文化資産の継承・創造・発信・発展	
(3) 目標3 ー育むー 子どもたちへの芸術・文化体験の充実と人材育成	
(4) 目標4 ー培うー 優れた芸術・文化に親しむ機会の提供と鑑賞者の育成	
(5) 情報発信等	
2 第77回高知市文化祭事業計画	5
(1) 活動支援事業	
(2) 文化祭開幕行事	
(3) 高知市展	
3 中央公民館事業計画	5
(1) 生涯学習講座事業	
(2) 第74回高知市夏季大学	
(3) 貸室事業	
4 横山隆一記念まんが館事業計画	7
(1) 資料の収集・保管及び展示	
(2) 収蔵資料のデジタルアーカイブ化及び公開	
(3) 博物館資料に関する調査・研究	
(4) 博物館資料を用いた学習機会の提供及びその他の教育活動	
(5) 職員研修の実施及び人材育成	
(6) 共同・連携事業	
(7) 地域の活力向上事業	
(8) その他	

■収支予算書

●収支予算書	10
(1) 収支予算書	
(2) 収支予算書内訳表	
(3) 資金調達及び設備投資の見込みについて	
(4) 資金収支予算書	

令和7年度事業計画

はじめに

高知市文化振興事業団は、昭和59年の設立以来、高知市における文化振興の実質的な推進母体としての役割を果たしてきた。高知市文化プラザ開館以降は、高知市から中央公民館事業や横山隆一記念まんが館事業等を委託されたことにより、市民の多様な生涯学習活動を支えるとともに、高知のまんが文化振興の推進役としての重要な役割も担っている。

令和6年度は、設立30周年時に作成した事業推進指針（平成27年度～令和6年度）の見直しの年となり、それまでの10年間を振り返るとともに、昨今の社会情勢の変化に対応し事業推進の方向性を示した新事業推進指針（令和7年度～令和16年度、以下「新指針」という。）を定め、「市民による芸術・文化の創造活動の日常化」を引き続き基本理念とした。

令和7年度は、新指針に基づいて自主文化事業、高知市文化祭事業、中央公民館事業及び横山隆一記念まんが館事業を進めていくこととし、公益法人としての使命と高知市文化振興ビジョンの中で求められる役割を果たすとともに、市民や様々な団体との協働・連携を深めることで効果的な事業展開を図るものとする。

I 基本方針

1 自主文化事業

新指針に定めた基本理念である「市民による芸術・文化の創造活動の日常化」を実現するため、4つの目標（2～3P参照）に沿った事業を実施する。

各事業の実施にあたっては、高知市文化振興ビジョンと整合性を図りながら、市民や各種機関、県内外の文化施設とのネットワークを活用し、広く市民の芸術・文化活動に寄与するものとなるよう努める。

2 高知市文化祭事業

各種文化団体や市民による文化活動を支援することで、幅広い世代の市民に向けた作品発表や公演の機会を提供する。日常的な芸術文化の創造・鑑賞の機会を構築し、市民の文化祭として、一層の充実と振興を図る。

3 中央公民館事業

超高齢社会においても持続可能な事業運営を目指して、多様なニーズに対応した生涯学習活動の場を提供する。魅力ある講座や科目を企画、実施するとともに、市民による自発的な公民館活動につなげるための働きかけに取り組み、地域の活性化に結び付けていく。

各種学習室の貸出については、web予約申込受付を周知するなど、引き続き稼働率の向上に取り組む。

4 横山隆一記念まんが館事業

博物館法に記載されている事業に準じ、一般から研究者の利用までの幅広いニーズに応える資料や情報の提供をするための収蔵資料整理と、まんが文化をより多くの人に親しみを感じてもらうための事業を、県内外の関係団体と連携して行っていく。

Ⅱ 事業計画

1 自主文化事業計画

新指針に掲げた基本理念を実現するための事業を実施する。市民参加の創造事業を継続して推進していくとともに、各団体との協働事業、鑑賞事業、アウトリーチ事業など、多様なプログラムで構成する。

(1) 目標1 「結ぶ」 「芸術・文化活動を通じた多様な主体との協働・連携の推進」

これまで構築してきた市民や関係団体、施設や行政とのネットワークを活用して、協働・連携のパートナー活動を相互にサポートする「文化の協働」を推進する。

土佐の神楽フェスティバル2025	R7年4月27日(日)
県内の保存会によって伝承されている土佐の神楽を、北広場に設ける特別舞台で上演。映像を交えて地域の神楽を紹介する。あわせて島根から社中を招き、石見神楽の演舞も披露する予定。	
主催：高知市文化プラザ共同企業体	
とさっ子タウン2025	R7年 8月16日(土)・17日(日)
とさっ子タウン実行委員会との協働で継続してきた事業。小学4年生から中学3年生を対象に仮想のまちで仕事を覚え、働き、学び、楽しみながら政治参加や納税などの社会の仕組みを学ぶプログラム。実行委員会に参画し事業協力を行う。	
共催：とさっ子タウン実行委員会・NPO高知市民会議・高知市市民活動サポートセンター・高知市文化プラザ共同企業体	
高知街ラ・ラ・ラ音楽祭	R7年 9月14日(日)
市民音楽の活性化と中心市街地活性化等を目的に開催する県下最大規模の音楽イベント。県内外から約130組が参加予定で、市内約10か所で演奏する手作り音楽祭。	
主催：高知街ラ・ラ・ラ音楽祭実行委員会	
ステージラボ高知セッション	R8年 2月24日(火)～27日(金)
全国の公立文化施設等の職員を対象に、自主文化事業の企画制作や、施設運営、地域との関わりなどを学ぶ一般財団法人地域創造の研修事業。令和7年度後期は文化プラザ公民館施設と小ホールで3コースを開講する。主担当と各コース担当計4人の事業団職員がスタッフとして参画。コーディネーター会議や他地域の視察に参加し、地域創造スタッフとともにプログラムの企画から当日の運営を進める。	
主催：(一財)地域創造	

(2) 目標2 「繋ぐ」 「高知に紡がれてきた文化資産の継承・創造・発信・発展」

高知に紡がれてきた有形・無形の文化資産を継承するとともに、次代に引き継ぐ新たな高知ならではの文化を創造し発信するため、地域や中央で活躍するアーティストとともに、作品を創り上げる事業を実施する。障害者の有無などにとらわれず誰もが芸術・文化に触れられる機会を提供し、出演・鑑賞する楽しさを知り感動を得られる機会となるような事業を展開する。

市民参加演劇公演「12人の怒れる土佐人」	R7年 7月18日(金)・19日(土)
令和6年度に事業団主催で制作上演後、県下3施設を巡演し全公演完売となった話題作の再演。少年による殺人事件の裁判に選ばれた陪審員12人が、テーブルを囲んで熱い議論を交わす、レジナルド・ローズの戯曲『12人の怒れる男』を、原文から新たに翻訳し、12人の高知の演劇人が挑む。初演時に引き続き県内の文化施設5館での巡演を予定。	
多田淳之介による古典戯曲クリエイション	R7年10月26日(日)
「共生社会の実現に向けた舞台芸術創造事業」と題した、障害の有無や社会的立場などの枠を取り払い、参加者の個性を活かした形で舞台芸術作品を制作・上演する事業の助成最終年となる3年目。演出家の多田淳之介を迎え、公募による市民とリージョナルアーティストとともに、古典戯曲をベースに身体表現中心のクリエイションを行う。	
助成：(一財)地域創造 地域の文化・芸術活動助成事業 創造プログラム(一般分)	

柴田恵子芸術振興基金 高知若手美術作家育成事業	企画展 R8年 1月20日(火)～25日(日)
高知市が受けた寄附を基金とする、美術分野の若者を支援・育成する事業。1期2か年の事業期間の2年目は、個人またはグループから応募された展示企画案の審査と企画展を行う。二次審査で選抜された作家には作品制作の支援金6万円をそれぞれ支給し、合同企画展で最終審査を行う。大賞受賞者1人(組)に賞金50万円を授与する。	
第35回高知出版学術賞	推薦募集開始 R7年12月
当該年における高知県関係の最も優れた学術出版を顕彰することによって、学術研究の振興を図り、県勢の進展に資することを目的とする。	
アーティストバンク	通年
地域で活動するアーティストのプロフィールや公演情報などを広く事業団webサイトなどで発信することで、市民とアーティストをつなぐとともに、アーティストの活動を支援する役割も果たす。	

(3) 目標3 一育むー「子どもたちへの芸術・文化体験の充実と人材育成」

子どもたちへの芸術・文化体験など興味・関心を持つきっかけとなる事業を継続的に実施することで、将来の文化の担い手づくりにつなげていく。

第14回高知の音楽活性化事業「加藤文枝 チェロリサイタル」	R7年 9月13日(土)
3か年の創造プログラム助成を想定した1年目は、クラシック音楽の案内役で定評のあるチェリストの加藤文枝に、チェロとピアノでクラシックの基礎を学ぶ。事業団の「おんかつ」としては通算14回目で、小学校中心に4か所のアウトリーチと1回のホール公演を実施。 助成：(一財)地域創造 地域の文化・芸術活動助成事業 創造プログラム(一般分)	
劇団四季 こころの劇場「王子と少年」	R8年 2月12日(木)・13日(金)
高知市立小学校の6年生を対象に、学校単位で無料招待するミュージカル公演。子どもたちに「命の尊さ」「信じあう喜び」「人を思いやる心」など、生きていく上で大切なことを舞台芸術を通して語りかける。高知市教育委員会との連携事業。 共催：劇団四季・(一財)舞台芸術センター	
かるぽーとこども音楽会	R8年 3月 8日(日)
小さいこども連れでも安心できる環境を整えた、0歳から入場可能で出入り自由のこども音楽会。地元で活躍する演奏団体が出演し、アニメソングや童謡、ポップスなどを演奏する。	

(4) 目標4 一培うー「優れた芸術・文化に親しむ機会の提供と鑑賞者の育成」

多くの市民に優れた芸術・文化の鑑賞機会を提供し、多様なジャンルの芸術公演を広く実施することで、将来の鑑賞者育成につなげる。

オペラシアターこんにゃく座公演 オペラ「ルドルフとイッパイアッテナ」	R7年 5月 6日(火・休)
日本語のオペラ専門劇団こんにゃく座が、児童文学の名作『ルドルフとイッパイアッテナ』をオペラ作品として制作。ピアニストと4人の歌手により、オリジナルの楽曲と振り付けで上演する。 共催：特定非営利活動法人高知市こども劇場	
佐渡裕指揮 シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会	R7年11月12日(水)
日本を代表する指揮者・佐渡裕と、吹奏楽愛好家から高い人気を誇るプロの吹奏楽団「シエナ・ウインド・オーケストラ」によるコンサート。演奏曲は、ヨハン・デ＝メイ作曲 交響曲第1番「指輪物語」などを予定。 助成：(一財)自治総合センター コミュニティ助成事業(地域の芸術環境づくり) (申請中)	
「いきなり本読み！」in 高知市文化プラザかるぽーと	期日未定
劇団ハイバイを主宰する作家・演出家の岩井秀人による、様々な俳優を迎えて初見の台本読み合わせを公開する人気企画。 (キャスティング・スケジュールを調整中)	

(5) 情報発信等

機関誌「文化高知」の発行、高知市広報「あかるいまち」や地元情報誌の告知枠、マスコミへの取材依頼による告知記事などを通して、事業団の情報提供や文化事業の周知活動に努める。また、事業団公式webサイトや、フェイスブック、X、インスタグラム、YouTube、LINEといったインターネット上での発信を強化していき、フォロワー拡大に努める。

「文化高知」は、本年度は239号から242号までを3か月毎に発行する。

年会費無料の情報発信サービス「かるちゃーず」は、LINEを活用し、事業情報を発信しながら招待企画なども行い、「友だち(会員)」の拡大から事業集客増につなげる。

2 第77回高知市文化祭事業計画（受託事業）

市民文化の継続的な発展のために、市民文化団体の自発的な活動がより活性化することを目的とし、各分野の市民文化団体との協働・連携を深めながら、以下の3事業に取り組む。

(1) 活動支援事業

高知市文化祭に参加するコンサートや舞踊、演劇、展示会等の様々なジャンルの市民自らの手で作る文化行事に助成金を交付するほか、広報などの支援を行う。

(2) 文化祭開幕行事

「土佐の文化 わが春 ―伝統和芸と現代洋舞の共演―」と題した舞台公演を4月13日(日)に開催する。能楽・一絃琴・日本舞踊・民謡などの伝統芸能と新しい文化であるジャズダンスを楽しみ、伝統を伝える世代と次世代を担う若者の交流を育めるようなプログラムを予定している。

(3) 高知市展

市民ボランティアである100人を超える高知市展専門委員とともに、5月24日(土)から6月8日(日)の会期でアンデパンダン(公募・無審査)方式によって10部門の総合美術展を開催する。

6月1日(日)には小学生を主な対象とした体験型の美術イベントを関連行事として実施する。展覧会に先がけて行う講習会は6部門を予定。また、会期中には出品者や鑑賞者の研鑽を目的とする研究会も行う。高知市の姉妹都市である北海道北見市との美術交流も引き続き予定している。

3 中央公民館事業計画（受託事業）

企画の工夫や内容を充実させることで学習機会を確保し、市民の生涯学習活動の推進に努める。

(1) 生涯学習講座事業

実施回数や内容を随時見直し、市民のニーズに応える講座を実施する。また、市民学校の継続受講生が自主的なサークル活動を行えるようなサポート体制を試行中。中央公民館を身近に感じてもらうことで将来の利用促進を視野に入れ、小学生を対象とした講座や体験教室を新規で計画しているほか、引き続き高知市民の大学運営委員会との共催や市民映画会など、市民とともに育んできた中央公民館事業の発展に努める。

講 座 名
市民学校（前後期）
市民講座
中央公民館こども体験教室（仮）
いきいきセカンド☆ライフ講座（前後期各2コース）
高知市民の大学（97期・98期、各2コース）
市民映画会（3回）

(2) 第74回高知市夏季大学

7月15日(火)から7月26日(土)までの日曜日・月曜日を除く10日間、文化プラザ大ホールで開催。さまざまな分野の講師を招き、市民の関心や話題性が高いテーマから社会的課題まで、市民に学び考える機会を提供する。

(3) 貸室事業

貸室事業の周知を図るため利用者のニーズに合った周知方法として、SNS等の活用を強化する。複合施設としての特徴を活かし、指定管理者と連携し柔軟な対応をすることで、利用者の利便性の向上を図り、利用の促進につなげる。

また、生涯学習サークルの活動支援等を継続し、生涯学習活動の拠点となるよう努める。

4 横山隆一記念まんが館事業計画（受託事業）

指定施設である横山隆一記念まんが館は、博物館法に従った事業構成とし、法律に記載されている事業についてできるだけ取り組んでいくことで整備を進める。

(1) 資料の収集・保管及び展示

① 収集

横山隆一の資料他、貴重な過去のまんが資料を中心に、古書の購入や寄贈を受け入れることで資料収集を行っていく。また、ライブラリーで読書に供するコミックやまんが関連書籍は、高知関係作家のものや各種まんが賞を受賞したもの、利用者からのリクエスト、学習まんがとして利用できるもの等を中心に購入する。

② 保管

収蔵庫の環境を良好に保つため、日々の管理や定期検査を行い、必要が生じた場合は燻蒸を行う。また虫菌害に関する職員の知識を深めるため講習の受講等も行う。破損資料等については、順次保存修復を委託し進めていく。

③ 展示

常設展示の造作物については、年2回制作業者による保守点検を行う。常設展示コーナーの中にテーマ展示コーナーを設け、年3回程度、多種多様な収蔵資料を公開する。また、年1回程度収蔵資料を基にした企画展を行うほか、国内外の様々なまんがの情報を提供する場としての企画展も実施する。

伝「やなせたかしと横山隆一」展	R7年 3月 8日(土)～ 8月31日(日)
まんが館特別企画展開催事業として令和6年度から7年度にわたる会期で、横山隆一とやなせたかしの関わりを中心にやなせたかしの足跡を紹介する。 共催：香美市立やなせたかし記念館	
公立美術館共同巡回展「これが漫画！展」	R7年 9月13日(土)～11月 4日(火)
助成プログラムに参加した4館で制作・巡回する合同企画展。横山隆一と北沢楽天・那須良輔の3人の作品を中心に、明治から昭和にかけてのまんがを取り上げる。 助成：(一財)地域創造 公立美術館共同巡回展開催助成事業	
「ジオラマと鉄道マンガ展」(仮)	R8年 1月～ 2月予定
3段スイッチバックで知られる「JR木次線・出雲坂根」の、迫力ある精巧なレイアウトを展示する。木次線が登場する鉄道まんがや隆一の鉄道模型も紹介する予定。	
「まんが・漫画・マンガ展！2026」	R8年 3月予定
高知漫画集団、高知漫画グループくじらの会など高知在住セミプロのまんが家グループを中心に、県内の学生など、地元でまんがを描いている人たちへの発表の機会を提供し、まんがの裾野を広げ、各作家の地力向上を支援する。	

(2) 収蔵資料のデジタルアーカイブ化及び公開

まんが館の収蔵品は、早稲田システム開発株式会社のデジタルデータベース（クラウド方式）を用いて資料登録から外部公開まで一括して行っている。現在約7万点の登録が終わっているが、未だ開館当初からの収蔵品で資料登録できていないものもあるため、引き続き整理、登録、調査を進め、随時デジタルアーカイブ公開していく。公開は、まんが館ホームページ及び全国美術館収蔵品サーチ「SHŪZŌ」で行われ、データベース検索が可能。

(3) 博物館資料に関する調査・研究

研究者などからの問い合わせに対するレファレンスに対応していく。

収蔵する横山隆一の資料はまんがのみならず多様な分野に及び、その活躍の分野も多岐にわたる。他の組織、外部の研究者等の協力を得ながら、日本のまんが史、文化史に関わる研究を進め、館報や年報において調査結果を発表していく。

① 公立美術館共同巡回展

企画支援助成から3年、準備年度及び開催年度に係る2か年の助成プログラムの最終年度は、これまで連携してきた、熊本県の湯前まんが美術館と合志マンガミュージアム、岡山県・勝央美術文学館、横山隆一記念まんが館の4館で5月から12月にかけて合同企画展「これが漫画！展」を巡回させる。

助成：(一財)地域創造 公立美術館共同巡回展開催助成事業

② 日本マンガ学会資料保存収集部会への参加

構成会員とともに、マンガ刊本の効率的なデータベース構築について研究していく。

(4) 博物館資料を用いた学習機会の提供及びその他の教育活動

① 第21回「まんがの日記念・4コマまんが大賞」の募集及び関連事業

横山隆一が4コマまんがの名手であったことから、4コマまんがに限定したまんが賞を平成17年度に創設し、本年度で21回目の開催となる。4コマまんがという手法で時事や風刺、身の回りの出来事を捉えて、自分の思いを表現するという知的・創造的活動を、子どもから大人まで誰でも参加できる形で促す取組。

作品募集	募集期間 R7年 4月～ 9月 5日(金)予定
ジュニア(小学生以下)、一般(中学生以上)の2部門での募集を行う。	
表彰式	期日未定
入賞作品会期中などに行う予定。	
4コマまんが大賞作品の展示	R7年12月予定
入賞作品や1次審査通過作品を企画展「4コマまんが大賞作品展」で展示する。	

② 学校教員向けの施設利用案内事業

「教員のための博物館の日 in 横山隆一記念まんが館」

学校教員に博物館を知り授業や学習に役立ててもらうきっかけづくりとして、平成20年に国立科学博物館が始めた「教員のための博物館の日」事業の「横山隆一記念まんが館」版。まんが館への無料招待日の設定や、解説講座を実施する。

共催：国立科学博物館・(公財)日本博物館協会

③ まんが体験イベント

小学生を対象に、楽しみながら創作活動を体験する場として、絵やまんがを描く技術を学んだり、絵を用いた工作を行うまんが体験イベントを開催し、まんがへの関心や理解を支援する。

夏休み体験イベント「めざせ！まんが職人」	R7年 7月・ 8月予定
小学生を対象にしたワークショップ。地元まんが家を講師に迎えた講座や、企画展と関連した内容の講座も計画している。	
冬の体験イベント「まんがで遊ぼう！プレクリスマス」	R7年12月20日(土)予定
4コマまんが作品展の会期中に実施。作品展観覧者を対象に、プレゼントグッズ等を手作りするワークショップ。	
まんが体験ワークショップ	期日未定
放課後児童クラブ等に出向いてのワークショップを、希望を募って実施する。	

(5) 職員研修の実施及び人材育成

① 職員研修

学芸員をはじめ職員が必要な知識を習得するため、文化庁や日本博物館協会等が実施する、ミュージアムパブリックリレーションズ研修や文化財(美術工芸品)保存修理講習会等を例とする各種の研修に参加する。そのほか、こうちミュージアム

ネットワークや高知県文化財団で行われる講座等にも積極的に参加する。

② 博物館実習の受入れ

学芸員資格取得のための大学生の実習を受け入れる。

(6) 共同・連携事業

① こうちミュージアムネットワークへの参加

県内の博物館施設などと連携し、各種事業を行うこうちミュージアムネットワークに参加し、情報交換を行い、高知県内の文化振興や観光振興イベント等へ協力するため、幹事館としての割り当て業務を担う。

② 高知お城下文化施設の会への参加

高知市中心部の博物館・図書館等の文化施設が連携し、様々な事業を通じて、高知県・高知市の文化振興や観光振興に資する活動を行うお城下文化施設の会に参加する。

(7) 地域の活力向上事業「こうちまんがフェスティバル」

子どもから大人までが参加できる、「みる・かく・あそぶ」をテーマとした、まんが・アニメのイベント「まんさいーこうちまんがフェスティバル2025」を11月1日(土)・2日(日)に高知市主催で開催。市民参加型の実行委員会が中心となり企画・運営を行うため、事務局としてバックアップしていく。

(8) その他

① 館報「FUKU－FUKU」(年4回)と、令和6年度年報の発行。

② 公式webサイト、SNS等を通じた広報活動を行う。

収支予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度予算額 (A)	前年度予算額		増 減 (A-C)
		当初(B)	補正後(C)	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1,000	1,000	1,000	0
基本財産運用利息	1,000	1,000	1,000	0
事業収益	196,159,000	183,276,000	186,009,000	10,150,000
文化事業収益	12,927,000	17,657,000	18,190,000	-5,263,000
文化事業収益	11,685,000	17,067,000	17,547,000	-5,862,000
まんが館事業収益	1,227,000	575,000	628,000	599,000
出版物売払収益	15,000	15,000	15,000	0
文化事業受託収益	183,232,000	165,619,000	167,819,000	15,413,000
高知市文化祭事業受託収益	7,090,000	7,098,000	7,098,000	-8,000
中央公民館事業受託収益	97,916,000	58,724,000	58,724,000	39,192,000
まんが館事業受託収益	78,226,000	52,642,000	54,842,000	23,384,000
運営管理受託収益	0	47,155,000	47,155,000	-47,155,000
受取補助金等	77,195,000	74,402,000	74,402,000	2,793,000
受取地方公共団体補助金	72,995,000	64,138,000	64,138,000	8,857,000
財団管理運営補助金	5,447,000	6,639,000	6,639,000	-1,192,000
文化事業補助金	54,337,000	46,103,000	46,103,000	8,234,000
文化活動等助成事業補助金	11,874,000	10,733,000	10,733,000	1,141,000
高知若手作家育成事業補助金	1,337,000	663,000	663,000	674,000
受取民間助成金	4,200,000	5,260,000	5,260,000	-1,060,000
事業助成金	4,200,000	5,260,000	5,260,000	-1,060,000
受取国庫助成金	0	5,004,000	5,004,000	-5,004,000
国庫助成金	0	5,004,000	5,004,000	-5,004,000
受取寄付金	10,000	10,000	10,000	0
文化事業寄付金	10,000	10,000	10,000	0
文化事業寄付金	10,000	10,000	10,000	0
雑収益	307,000	689,000	689,000	-382,000
雑収益	307,000	689,000	689,000	-382,000
運営管理事業雑収益	23,000	215,000	215,000	-192,000
中央公民館実習材料販売等雑収益	264,000	455,000	455,000	-191,000
まんが館事業雑収益	20,000	19,000	19,000	1,000
経常収益計	273,672,000	258,378,000	261,111,000	12,561,000

収支予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度予算額 (A)	前年度予算額		増 減 (A-C)
		当初(B)	補正後(C)	
(2) 経常費用				
事業費	267,600,000	250,927,000	253,660,000	13,940,000
役員報酬	2,436,000	2,427,000	2,427,000	9,000
給料	81,527,000	72,720,000	72,720,000	8,807,000
手当	47,327,000	41,834,000	41,834,000	5,493,000
福利厚生費	27,845,000	25,154,000	25,154,000	2,691,000
食糧費	249,000	555,000	561,000	-312,000
旅費交通費	4,322,000	7,539,000	7,539,000	-3,217,000
通信運搬費	2,629,000	1,893,000	2,069,000	560,000
減価償却費	21,000	34,000	34,000	-13,000
消耗品費	5,634,000	4,128,000	4,526,000	1,108,000
修繕費	270,000	251,000	251,000	19,000
印刷製本費	4,724,000	4,275,000	4,968,000	-244,000
燃料費	204,000	204,000	204,000	0
賃借料	8,754,000	8,121,000	8,318,000	436,000
広告宣伝費	2,727,000	987,000	1,147,000	1,580,000
保険料	890,000	554,000	829,000	61,000
委託費	51,165,000	51,913,000	52,451,000	-1,286,000
諸謝金	17,154,000	17,731,000	18,013,000	-859,000
租税公課	8,887,000	8,919,000	8,920,000	-33,000
負担金	149,000	924,000	924,000	-775,000
雑費	686,000	764,000	771,000	-85,000
管理費	6,144,000	7,536,000	7,536,000	-1,392,000
役員報酬	3,133,000	3,072,000	3,072,000	61,000
給料	776,000	693,000	693,000	83,000
手当	772,000	719,000	719,000	53,000
福利厚生費	958,000	1,162,000	1,162,000	-204,000
交際費	10,000	10,000	10,000	0
旅費交通費	0	177,000	177,000	-177,000
通信運搬費	92,000	76,000	76,000	16,000
減価償却費	0	0	0	0
消耗品費	77,000	74,000	74,000	3,000
修繕費	9,000	8,000	8,000	1,000
印刷製本費	6,000	6,000	6,000	0
燃料費	8,000	8,000	8,000	0
賃借料	49,000	1,111,000	1,111,000	-1,062,000
保険料	100,000	82,000	82,000	18,000
委託費	43,000	45,000	45,000	-2,000
諸謝金	11,000	9,000	9,000	2,000
租税公課	13,000	5,000	5,000	8,000
負担金	73,000	73,000	73,000	0
雑費	14,000	206,000	206,000	-192,000
経常費用計	273,744,000	258,463,000	261,196,000	12,548,000
当期経常増減額	-72,000	-85,000	-85,000	13,000
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-72,000	-85,000	-85,000	13,000
一般正味財産期首残高	48,285,936	48,085,007	48,085,007	200,929
一般正味財産期末残高	48,213,936	48,000,007	48,000,007	213,929
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,615,714	11,832,145	11,832,145	-1,216,431
指定正味財産期末残高	10,615,714	11,832,145	11,832,145	-1,216,431
III 正味財産期末残高	58,829,650	59,832,152	59,832,152	-1,002,502

収支予算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科	目	公益目的事業	法人会計	合計
I	一般正味財産増減の部			
1	経常増減の部			
	(1) 経常収益			
	基本財産運用益	0	1,000	1,000
	基本財産受取利息	0	1,000	1,000
	基本財産受取利息	0	1,000	1,000
	事業収益	195,462,000	697,000	196,159,000
	文化事業収益	12,429,000	498,000	12,927,000
	文化事業収益	11,187,000	498,000	11,685,000
	まんが館事業収益	1,227,000	0	1,227,000
	出版物売払収益	15,000	0	15,000
	文化事業受託収益	183,033,000	199,000	183,232,000
	高知市文化祭事業受託収益	7,090,000	0	7,090,000
	中央公民館事業受託収益	97,717,000	199,000	97,916,000
	まんが館事業受託収益	78,226,000	0	78,226,000
	運営受託収益	0	0	0
	受取補助金等	71,748,000	5,447,000	77,195,000
	受取地方公共団体補助金	67,548,000	5,447,000	72,995,000
	財団管理運営補助金	0	5,447,000	5,447,000
	文化事業補助金	54,337,000	0	54,337,000
	文化活動等助成事業補助金	11,874,000	0	11,874,000
	高知若手作家育成事業補助金	1,337,000	0	1,337,000
	受取民間助成金	4,200,000	0	4,200,000
	事業助成金	4,200,000	0	4,200,000
	受取寄付金	0	10,000	10,000
	文化事業寄付金	0	10,000	10,000
	文化事業寄付金	0	10,000	10,000
	雑収益	304,000	3,000	307,000
	雑収益	304,000	3,000	307,000
	運営事業雑収益	20,000	3,000	23,000
	中央公民館実習材料販売等雑収益	264,000	0	264,000
	まんが館事業雑収益	20,000	0	20,000
	経常収益計	267,514,000	6,158,000	273,672,000

科 目	公益目的事業	法人会計	合計
(2) 経常費用			
事業費	267,600,000	0	267,600,000
役員報酬	2,436,000	0	2,436,000
給料	81,527,000	0	81,527,000
手当	47,327,000	0	47,327,000
福利厚生費	27,845,000	0	27,845,000
食糧費	249,000	0	249,000
旅費交通費	4,322,000	0	4,322,000
通信運搬費	2,629,000	0	2,629,000
減価償却費	21,000	0	21,000
消耗品費	5,634,000	0	5,634,000
修繕費	270,000	0	270,000
印刷製本費	4,724,000	0	4,724,000
燃料費	204,000	0	204,000
賃借料	8,754,000	0	8,754,000
広告宣伝費	2,727,000	0	2,727,000
保険料	890,000	0	890,000
委託費	51,165,000	0	51,165,000
諸謝金	17,154,000	0	17,154,000
租税公課	8,887,000	0	8,887,000
負担金	149,000	0	149,000
雑費	686,000	0	686,000
管理費	0	6,144,000	6,144,000
役員報酬	0	3,133,000	3,133,000
給料	0	776,000	776,000
手当	0	772,000	772,000
福利厚生費	0	958,000	958,000
交際費	0	10,000	10,000
旅費交通費	0	0	0
通信運搬費	0	92,000	92,000
消耗品費	0	77,000	77,000
修繕費	0	9,000	9,000
印刷製本費	0	6,000	6,000
燃料費	0	8,000	8,000
賃借料	0	49,000	49,000
保険料	0	100,000	100,000
委託費	0	43,000	43,000
諸謝金	0	11,000	11,000
租税公課	0	13,000	13,000
負担金	0	73,000	73,000
雑費	0	14,000	14,000
経常費用計	267,600,000	6,144,000	273,744,000
当期経常増減額	-86,000	14,000	-72,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額			0
当期一般正味財産増減額			-72,000
一般正味財産期首残高			48,285,936
一般正味財産期末残高			48,213,936
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	10,615,714
指定正味財産期末残高	0	0	10,615,714
III 正味財産期末残高			58,829,650

資金調達及び設備投資の見込みについて
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

1 資金調達の見込みについて

期中に借り入れの予定はありません。

2 設備投資の見込みについて

期中に重要な設備投資(除却または売却を含む)の予定はありません。

以 上

資金収支予算書
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

1 収入の部

(単位:円)

科 目	当年度予算額 (A)	前年度予算額		増 減 (A-C)	備 考
		当初(B)	補正後(C)		
1 基本財産運用収入	1,000	1,000	1,000	0	
1 基本財産運用収入	1,000	1,000	1,000	0	
1 基本財産利息	1,000	1,000	1,000	0	
2 事業収入	196,259,000	183,376,000	186,109,000	10,150,000	
1 文化事業収入	12,927,000	17,657,000	18,190,000	-5,263,000	
1 文化事業収入	11,685,000	17,067,000	17,547,000	-5,862,000	
2 まんが館事業収入	1,227,000	575,000	628,000	599,000	
3 出版物売払収入	15,000	15,000	15,000	0	
2 文化事業受託収入	183,332,000	165,719,000	167,919,000	15,413,000	
1 高知市文化祭事業受託収入	7,090,000	7,098,000	7,098,000	-8,000	
2 中央公民館事業受託収入	98,016,000	58,724,000	58,724,000	39,292,000	財団職員人件費含む
3 まんが館事業受託収入	78,226,000	52,642,000	54,842,000	23,384,000	〃
4 運営受託収入	0	47,255,000	47,255,000	-47,255,000	〃
3 補助金収入	77,195,000	74,402,000	74,402,000	2,793,000	
1 地方公共団体補助金収入	72,995,000	64,138,000	64,138,000	8,857,000	
1 財団管理運営補助金収入	5,447,000	6,639,000	6,639,000	-1,192,000	〃
2 文化事業補助金収入	54,337,000	46,103,000	46,103,000	8,234,000	〃
3 文化活動等助成事業補助金収入	11,874,000	10,733,000	10,733,000	1,141,000	〃
4 高知若手作家育成事業補助金収入	1,337,000	663,000	663,000	674,000	〃
2 民間助成金収入	4,200,000	5,260,000	5,260,000	-1,060,000	
1 事業助成金	4,200,000	5,260,000	5,260,000	-1,060,000	
3 国庫助成金収入	0	5,004,000	5,004,000	-5,004,000	
1 国庫助成金	0	5,004,000	5,004,000	-5,004,000	
4 寄付金収入	10,000	10,000	10,000	0	
1 文化事業寄付金	10,000	10,000	10,000	0	
1 文化事業寄付金	10,000	10,000	10,000	0	
5 雑収入	307,000	689,000	689,000	-382,000	
1 雑収入	307,000	689,000	689,000	-382,000	
1 運営管理事業雑収入	23,000	215,000	215,000	-192,000	
2 中央公民館実習材料販売等雑収入	264,000	455,000	455,000	-191,000	
3 まんが館事業雑収入	20,000	19,000	19,000	1,000	
当期収入合計 (A)	273,772,000	258,478,000	261,211,000	12,561,000	
前期繰越収支差額	28,560,787	29,669,598	29,669,598	-1,108,811	
合 計 (B)	302,332,787	288,147,598	290,880,598	11,452,189	

資金収支予算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

2 支出の部

(単位:円)

科 目	当年度予算額 (A)	前年度予算額		増 減 (A-C)	備 考
		当初(B)	補正後(C)		
1 事業費支出	267,564,000	250,878,000	253,611,000	13,953,000	
役員報酬支出	2,436,000	2,427,000	2,427,000	9,000	
給料支出	81,527,000	72,720,000	72,720,000	8,807,000	
手当支出	47,327,000	41,834,000	41,834,000	5,493,000	
福利厚生費支出	27,845,000	25,154,000	25,154,000	2,691,000	
食糧費支出	249,000	555,000	561,000	-312,000	
旅費交通費支出	4,322,000	7,539,000	7,539,000	-3,217,000	
通信運搬費支出	2,629,000	1,893,000	2,069,000	560,000	
消耗品費支出	5,634,000	4,128,000	4,526,000	1,108,000	
修繕費支出	270,000	251,000	251,000	19,000	
印刷製本費支出	4,709,000	4,260,000	4,953,000	-244,000	
燃料費支出	204,000	204,000	204,000	0	
賃借料支出	8,754,000	8,121,000	8,318,000	436,000	
広告宣伝費支出	2,727,000	987,000	1,147,000	1,580,000	
保険料支出	890,000	554,000	829,000	61,000	
委託費支出	51,165,000	51,913,000	52,451,000	-1,286,000	
諸謝金支出	17,154,000	17,731,000	18,013,000	-859,000	
租税公課支出	8,887,000	8,919,000	8,920,000	-33,000	
負担金支出	149,000	924,000	924,000	-775,000	
雑費支出	686,000	764,000	771,000	-85,000	
2 管理費支出	6,144,000	7,536,000	7,536,000	-1,392,000	
役員報酬支出	3,133,000	3,072,000	3,072,000	61,000	
給料支出	776,000	693,000	693,000	83,000	
手当支出	772,000	719,000	719,000	53,000	
福利厚生費支出	958,000	1,162,000	1,162,000	-204,000	
交際費支出	10,000	10,000	10,000	0	
旅費交通費支出	0	177,000	177,000	-177,000	
通信運搬費支出	92,000	76,000	76,000	16,000	
消耗品費支出	77,000	74,000	74,000	3,000	
修繕費支出	9,000	8,000	8,000	1,000	
印刷製本費支出	6,000	6,000	6,000	0	
燃料費支出	8,000	8,000	8,000	0	
賃借料支出	49,000	1,111,000	1,111,000	-1,062,000	
保険料支出	100,000	82,000	82,000	18,000	
委託費支出	43,000	45,000	45,000	-2,000	
諸謝金支出	11,000	9,000	9,000	2,000	
租税公課支出	13,000	5,000	5,000	8,000	
負担金支出	73,000	73,000	73,000	0	
雑費支出	14,000	206,000	206,000	-192,000	
3 予備費支出	100,000	100,000	100,000	0	
予備費支出	100,000	100,000	100,000	0	
当期支出合計 (C)	273,808,000	258,514,000	261,247,000	12,561,000	
当期収支差額 (A)-(C)	-36,000	-36,000	-36,000	0	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	28,524,787	29,633,598	29,633,598	-1,108,811	

